

2日目 2019年10月20日(日)

8:30～		
9:00～	演題19	ウィリアムズ症候群の視空間認知とパフォーマンス
	演題20	あいまいな喪失の経験を支える「音楽すること」 —入所施設で思春期を迎える子どもたちが「希望」を見出した演奏活動—
	演題21	統合失調症者の音楽聴取を用いた個別音楽療法 ～聴き馴染の音楽と書き込みがもたらす対話～
	演題22	高齢者を対象とした書道療法における内発的動機づけ —「双鉤填墨」の体験過程での気づきの共有とエンパワメント—
	演題23	石碑を描き続けた男性患者との面接
	演題24	縄文文化から見た表現の根源
11:20～	会長講演 「音・音楽の表現を支えるもの」 土野 研治	座長 大森 健一
12:20～	昼休み ・ 芸術療法士の集い	
13:20～	特別講演 「文字が立ち上がる時～筆触から考える」 石川 九楊 (書家)	座長 土野 研治
14:50～	シンポジウム 「表現の根源—表現を支えるもの—」 司会 土野 研治 シンポジスト 松井 紀和 (日本臨床心理研究所所長) 村上 靖彦 (大阪大学教授) 松本 哲 (社会福祉法人みぬま福祉会総合施設長)	総合司会 近藤 靖子
17:00～	閉会式	